EIDAI

S871

室内ドア

アウトセット吊り戸レールセット（壁付けタイプ）

施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ［施工説明書　P1～P12］

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ［取扱説明書　P12］

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。

禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

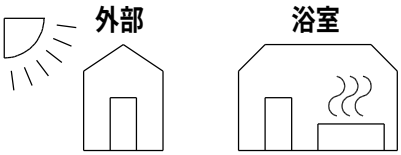
施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1．部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2．姿図・納まり図・・・・・・・・・・・・・4～5
3．施工手順
　3－1．施工の前準備・・・・・・・・・・・・6
　3－2．額縁・縦枠の取り付け・・・・・・・6
　3－3．納まりを変更する場合　・・・・・・7
　3－4．吊りレールと吊り車の準備　・・・・8
　3－5．付属部品の取り付け　・・・・・8～9
　3－6．吊りレールの取り付け　・・・・・・9
　3－7．レールカバー取り付け　・・・・・10
　3－8．サイドカバー取り付け　・・・・・10
　3－9．下部ガイドの取り付け　・・・・・11
　3－10．吊り戸本体の吊り込み　・・・・11
4．養生・お手入れ方法
　4－1．養生・・・・・・・・・・・・・・・・12
　4－2．お手入れ方法・・・・・・・・・・・12
5．ご使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・12

施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

⚠ 注意	●本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法などの表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工を行ってください。 ●本製品はホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したものですが、施工の際にご使用になる現場調達品（飼木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

本製品は、一般住宅用（室内専用）です。
業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



反りや変形の原因になりますので、製品到着後はすみやかに施工してください。また、開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行い、開梱後は長く放置しないでください。キズが付く恐れがあります。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

吊りレール・縦枠を施工する際は水平・垂直を確認し、取り付けてください。
取り付け状態が悪いと、吊り戸が正常に作動しなくなるおそれがあります。

縦枠と柱・間柱との間には必ずすき間をつくり、乾燥した飼木を入れてください。

ファインモーション受け金具は、取り外さないでください。
また、ファインモーション付き吊り車にあるオイルユニットのオイルを抜いたり、注入したりすると故障の原因になります。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

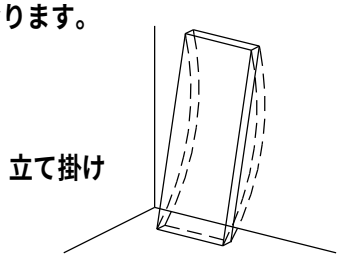
コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合には、必ず防水処理をしてください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。テープをはがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

建築工事中は吊り戸本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、吊り戸本体・縦枠（額縁）を濡らさないようにしてください。

施工が完了するまでは、吊り戸本体や縦枠（額縁）を水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。



ファインモーション受け金具が、必ず所定位置（吊りレールに取り付け穴加工済み）に取り付けられているかご確認ください。
また、吊り戸本体を吊り込んだり、外す際には、必ずファインモーション受け金具に衝突しないよう避けた位置にて作業を行ってください。

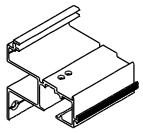
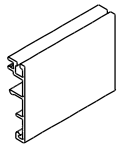
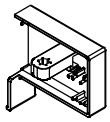
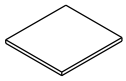
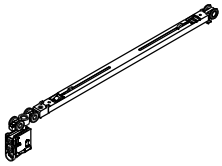
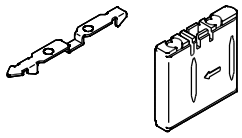
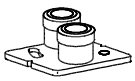
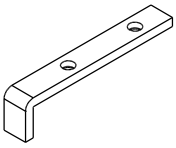
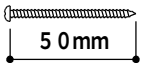
養生・お手入れ方法・使用上のご注意は１２ページをご覧ください。

1．部材・部品表

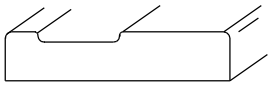
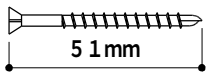
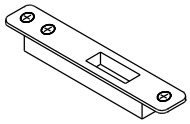
施工前に部材・部品の梱包内容をお確かめください。

・品番表示の※印には、色記号が入ります。

■レールセット：ＶＦ－ＥＲＡＶ３０７Ｓ※（Ｌ／Ｒ）

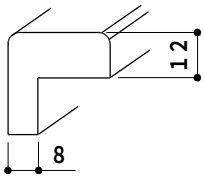
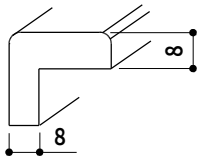
部材名・形状			入数
吊りレール			1
レール全面カバー			1
サイドカバー			左右各1
レール上面カバー			1
施工・取扱説明書		（本説明書）	1
部品セット	ファインモーション付き吊り車		1
	ファインモーション受け金具	（ファインモーション受け金具）  （固定用冶具） 固定ビスのサイズφ３ｘ２５	2
	吊り車		1
	下部ガイド（固定ビス付き）	 固定ビスのサイズφ３ｘ１６	1
	Ｌ型金具（オニメナット２個・フランジナット２個・固定ビスＭ４ｘ１５ ４本付き）		2
	レール上側固定ビス φ３．５Ｘ５０		5
	レール下側固定ビス φ３．５Ｘ３０		2
	ファインモーション受け金具取り付けビス Ｍ４Ｘ８		4
	フランジナット		4

■縦枠セット（別売品）

部材名・形状		入数
縦枠		1
ＩＰビス		6
ビス穴キャップ		6
鎌錠ストライク ※１（縦枠に取り付け済み）		1

※１　鎌錠付き仕様の場合です。

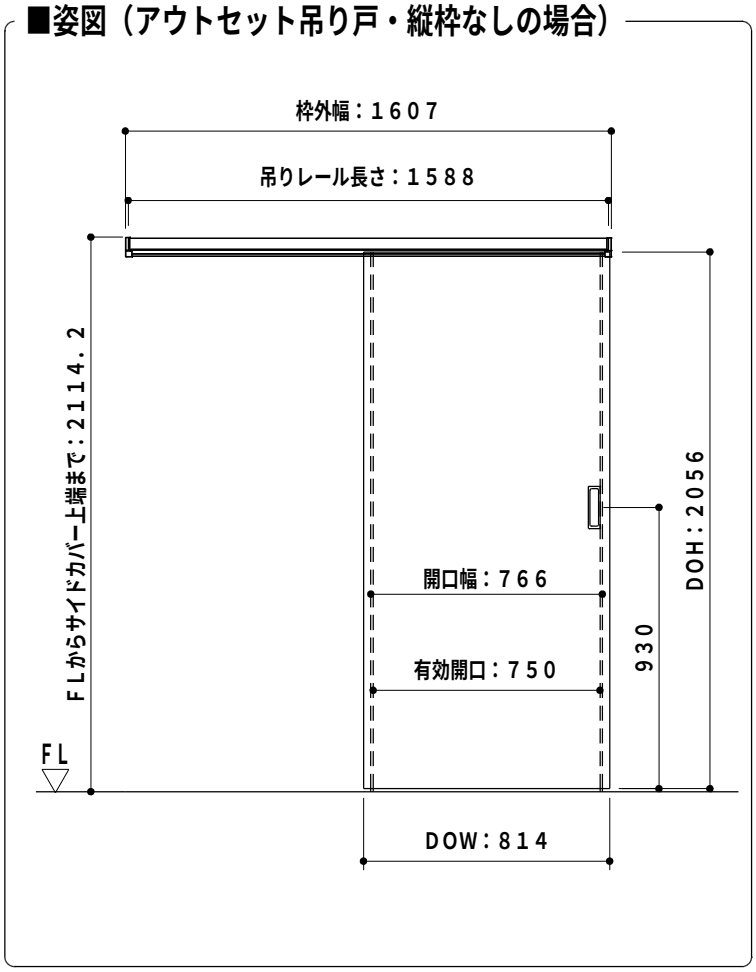
■額縁（別売品）

部材名・形状		入数
縦額縁（ＩＰＥ－Ｃ１１０※３９）		4
上額縁（ＩＰＥ－Ｃ１５０※３９）		4

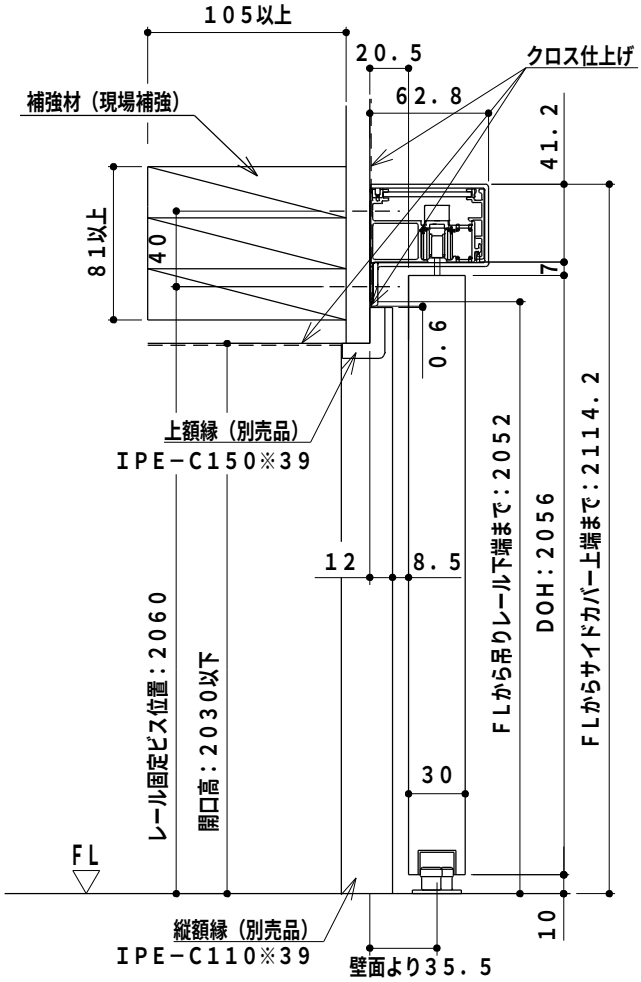
2．姿図・納まり図

（単位：mm）

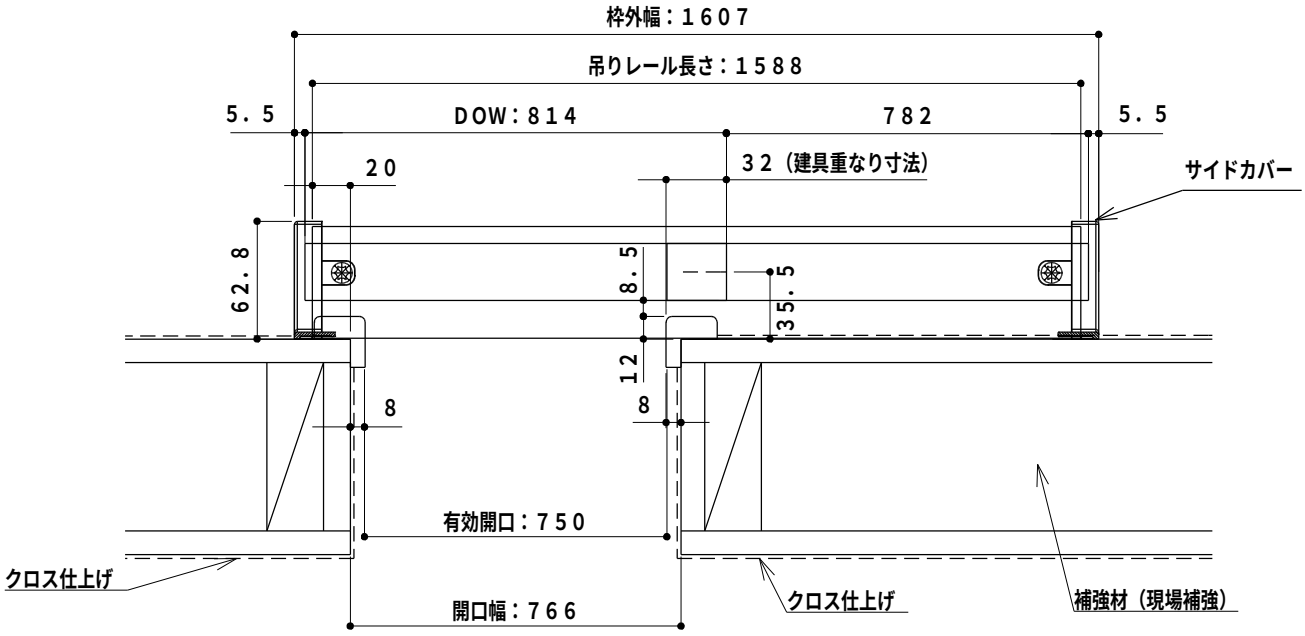
■姿図（アウトセット吊り戸・縦枠なしの場合）



■アウトセット吊り戸（縦枠なしの場合）垂直断面図



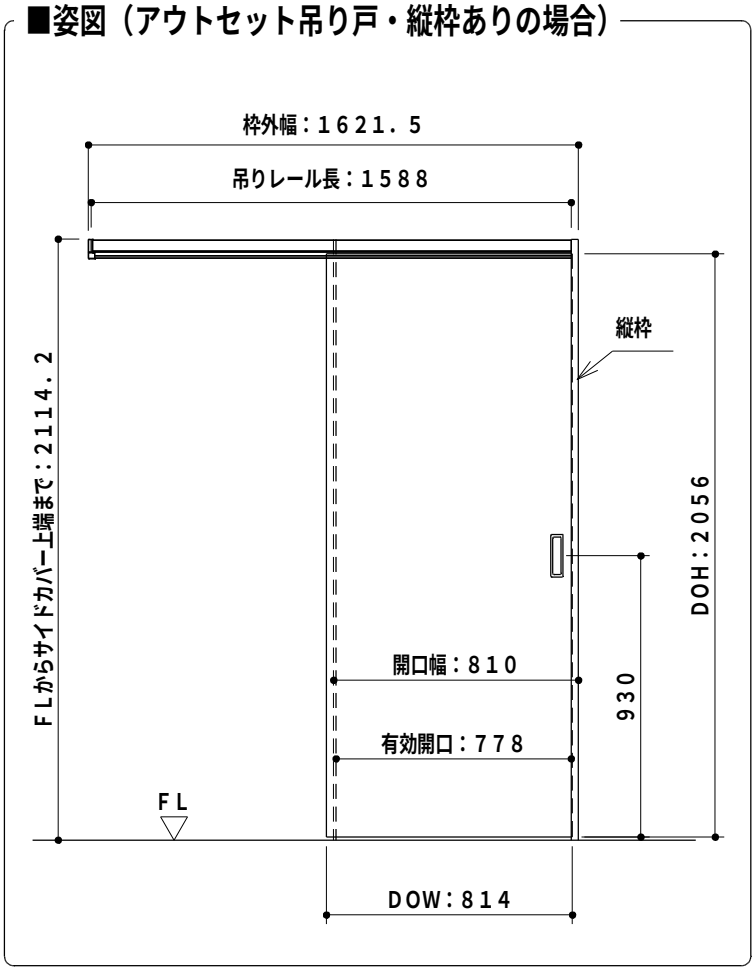
■アウトセット吊り戸（縦枠なしの場合）水平断面図



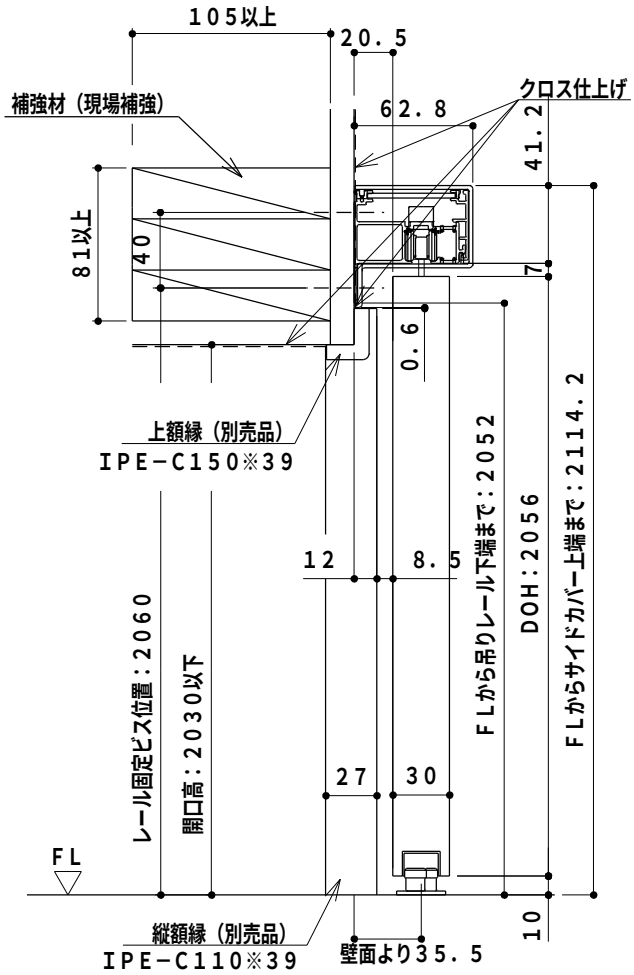
※ＦＬとは、床仕上げ面を示します。
※上図は右引きの場合です。

（単位：mm）

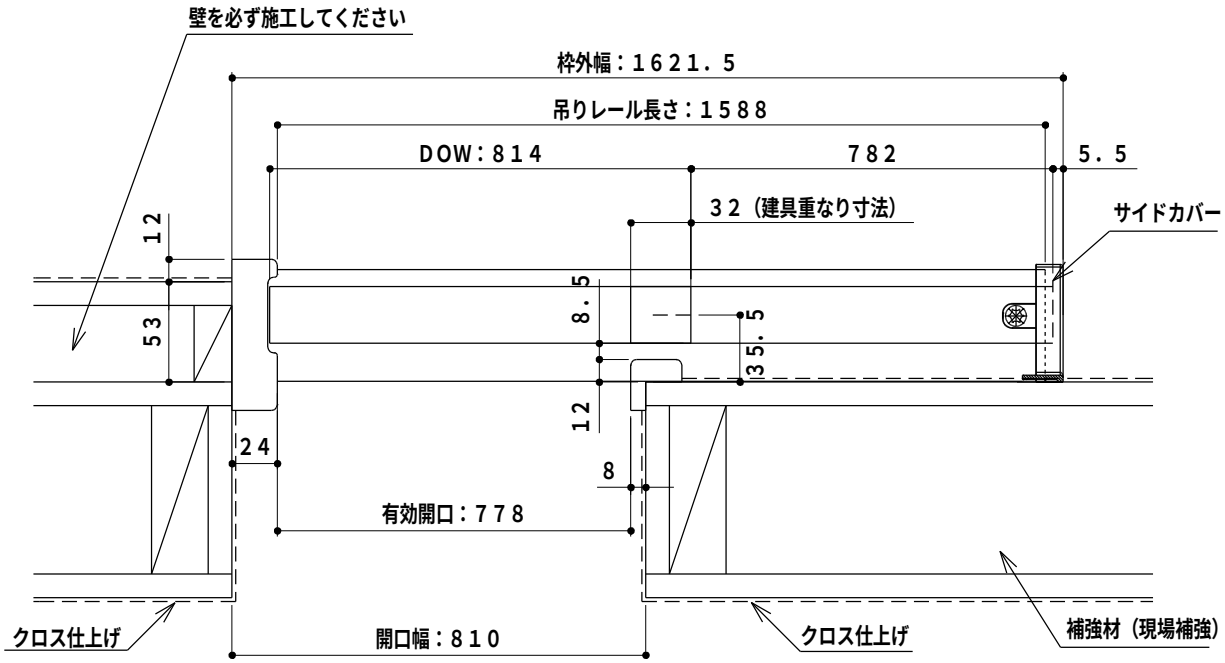
■姿図（アウトセット吊り戸・縦枠ありの場合）



■アウトセット吊り戸（縦枠ありの場合）垂直断面図



■アウトセット吊り戸（縦枠ありの場合）水平断面図

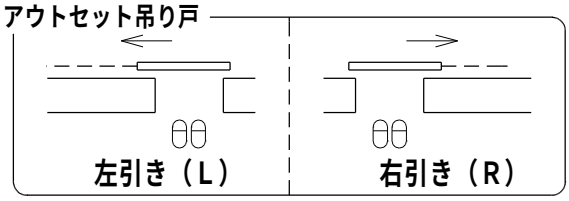


※ＦＬとは、床仕上げ面を示します。
※上図は右引きの場合です。

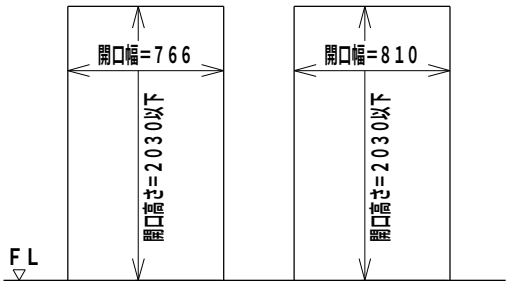
３．施工手順

３－１．施工の前準備

①引き勝手の確認
引き勝手は右図のようになります。



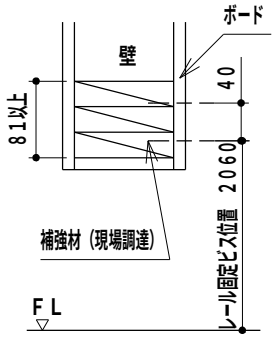
②開口部の作成
・アウトセット吊り戸用縦枠を付けない場合は、　開口幅７６６mm、開口高さ２０３０mm以下で開口部を作成してください。
・アウトセット吊り戸用縦枠ありの場合は、開口幅は８１０mmになります。



正面図

アウトセット吊り戸用縦枠なしの場合

アウトセット吊り戸用縦枠ありの場合



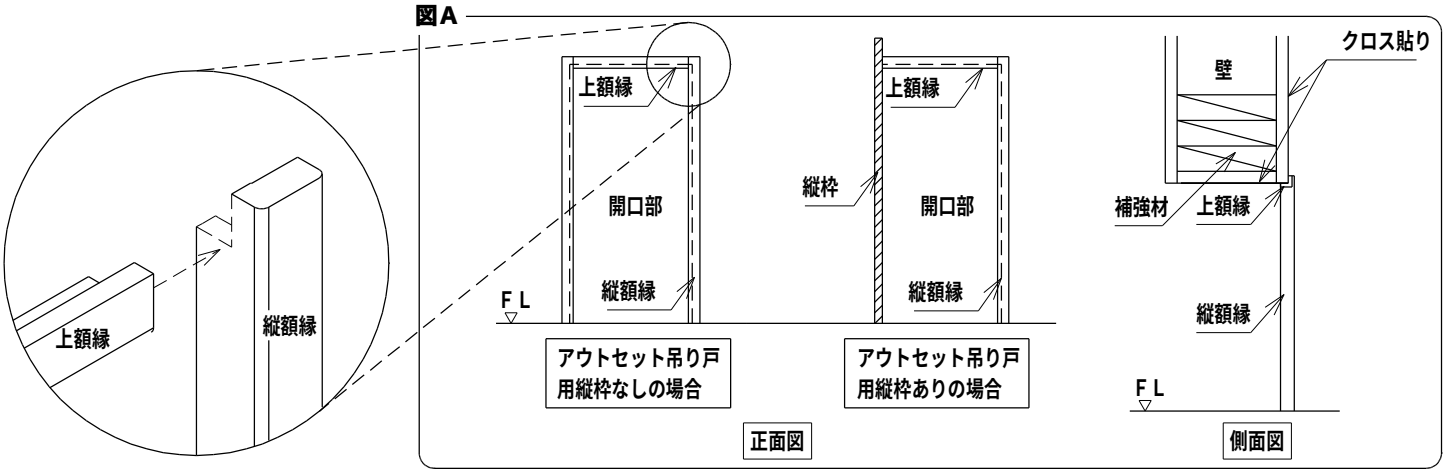
側面図

吊りレールが取り付けられる壁には左図のように必ず補強材を入れてください。
補強材が入っていないと吊りレール及び吊り戸本体が脱落しケガをする恐れがあります。

※ＦＬとは、床の仕上げ面を示します。
（単位：mm）

３－２．額縁・縦枠の取り付け

額縁は縦勝ちにし、接着剤（現場調達）にて固定してください。
※アウトセット吊り戸用縦枠ありの場合は上額縁を縦枠に突きつけて取り付けてください。（図Ａ）
※アウトセット吊り戸用縦枠の取り付けについては、縦枠同梱の「アウトセット吊り戸用縦枠　施工時の注意点」を参照ください。

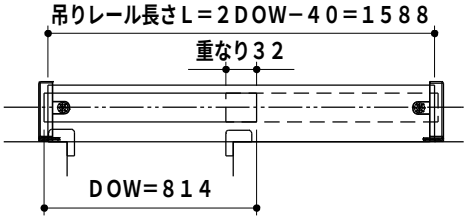


３－３．納まりを変更する場合

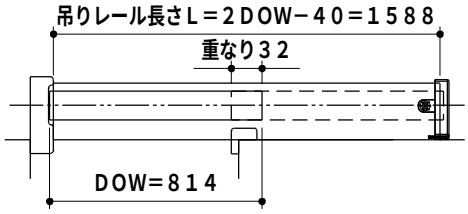
本製品では、吊り戸本体幅ＤＯＷと吊りレール長さＬの関係は下図のようになっております。

■本製品の標準的な納まり

・縦枠なし



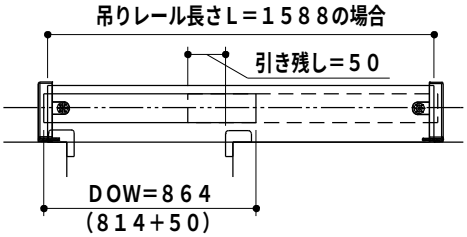
・縦枠あり

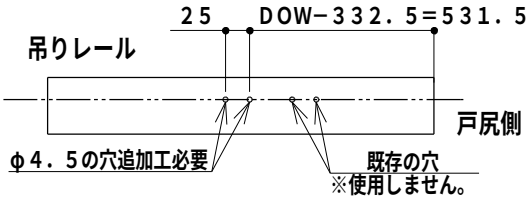


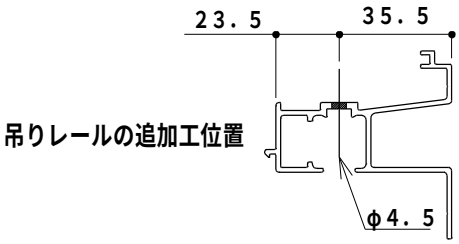
下図のように引き残しを設ける等の理由により、納まりを変更する場合は、吊りレールに穴の追加工をする必要があります。

吊りレールの戸尻側端部から（ＤＯＷ－３３２．５mm）の位置とその穴から２５mmの位置にφ４．５mmの穴２点の追加工をしてください。８ページのファインモーション受け金具が取り付きます。

■納まりを変更する場合（例：引き残し寸法５０mmにする場合）





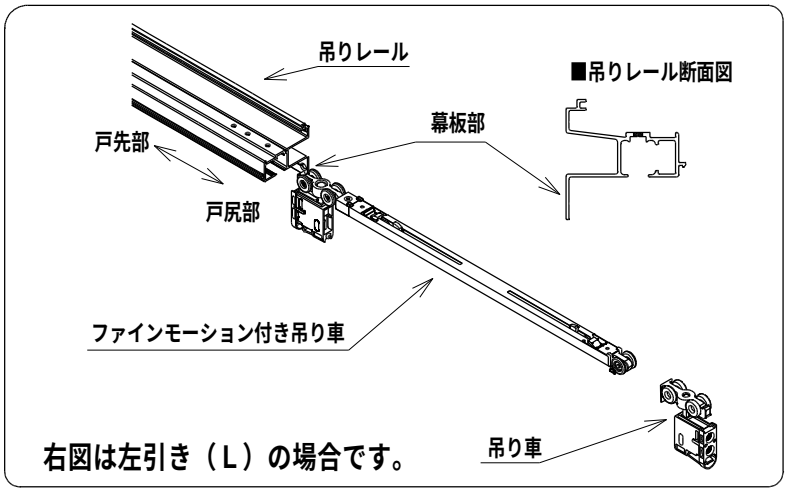


お願い 納まりを変更する場合は、必ず吊りレールに穴の追加工を行ってください。
穴の追加工を行わないと、戸尻側のファインモーション機構が機能しません。

※ＤＯＷとＬの関係を変更しなければ、特注品の場合であっても、吊りレールにはあらかじめ穴加工がありますので、追加工の必要はありません。

３－４．吊りレールと吊り車の準備

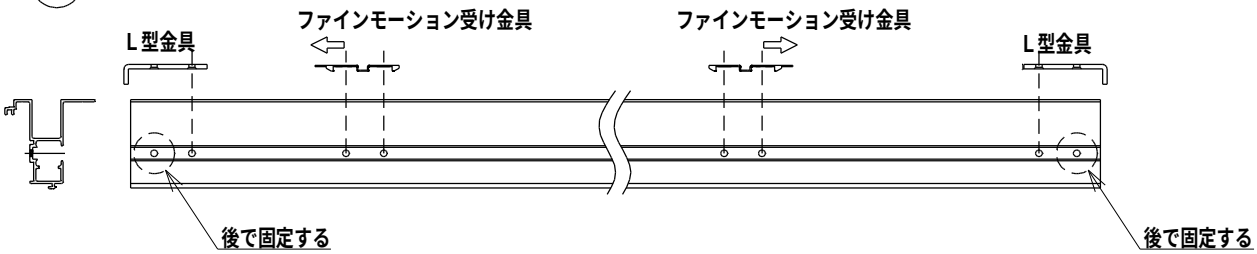
吊りレールにファインモーション付き吊り車と吊り車を右図の順序になるよう差し込んでください。

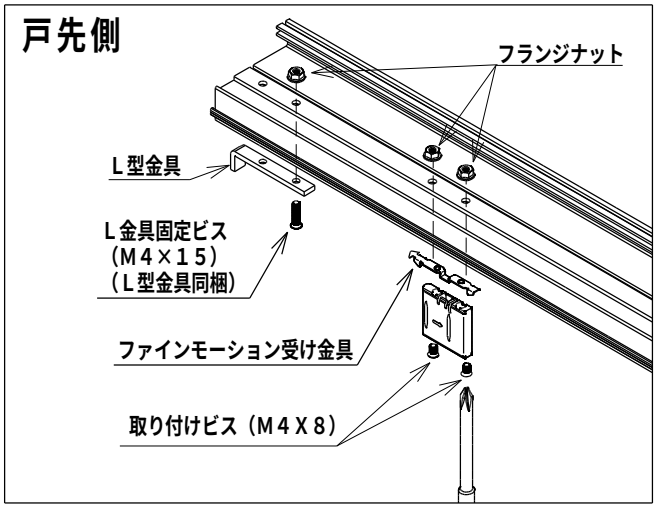


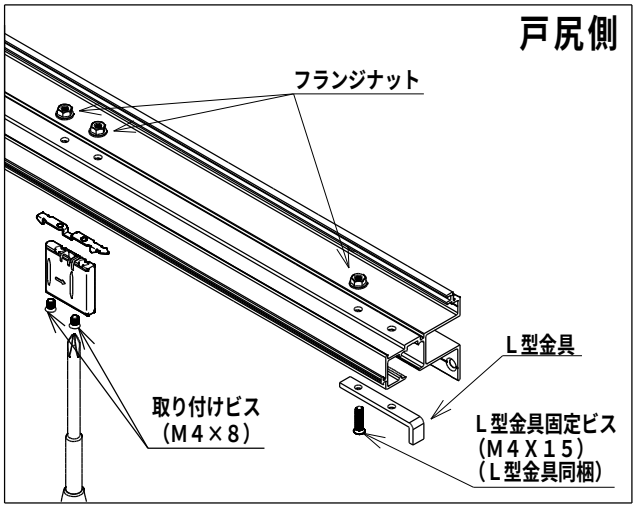
３－５．付属部品の取り付け

吊りレールには、ファインモーション受け金具、Ｌ型金具の取り付け穴があいています。
下図を参照の上、取り付け穴に合わせて各金具を取り付けてください。
※吊りレールの端の穴については、１０ページのサイドカバーの取り付けまで固定しないでください。

ファインモーション受け金具の金具の矢印形状が外側に向くように取り付けてください。

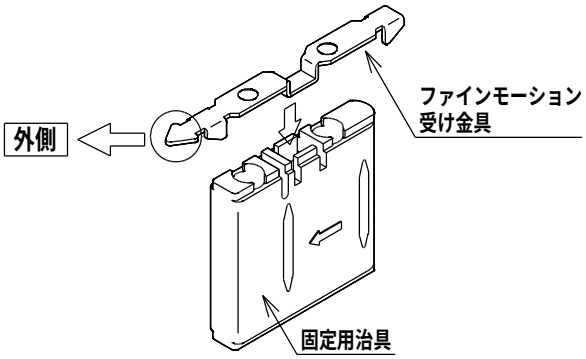




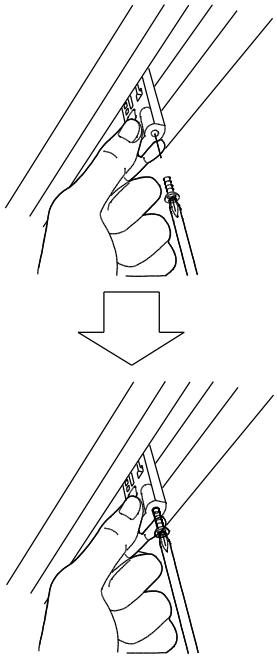


※ファインモーション受け金具の向きに注意してください。
下図、金具の矢印形状が外側に向くように取り付けてください。

※ファインモーション受け金具には、固定用治具を同梱しています。下図を参考にご使用ください。



※固定用治具の側面の矢印方向と金具の矢印形状が外側へ向くように取り付けてください。



固定用治具を指で持ちながら、ファインモーション受け金具を吊りレールに差し込み、取り付け穴に当ててください。

ファインモーション受け金具がレールの溝にまっすぐ入っていることを確認してください。

固定用治具を押し当てたまま、付属のビスで固定してください。完全に固定したら、固定用治具を下に引き抜いてください。

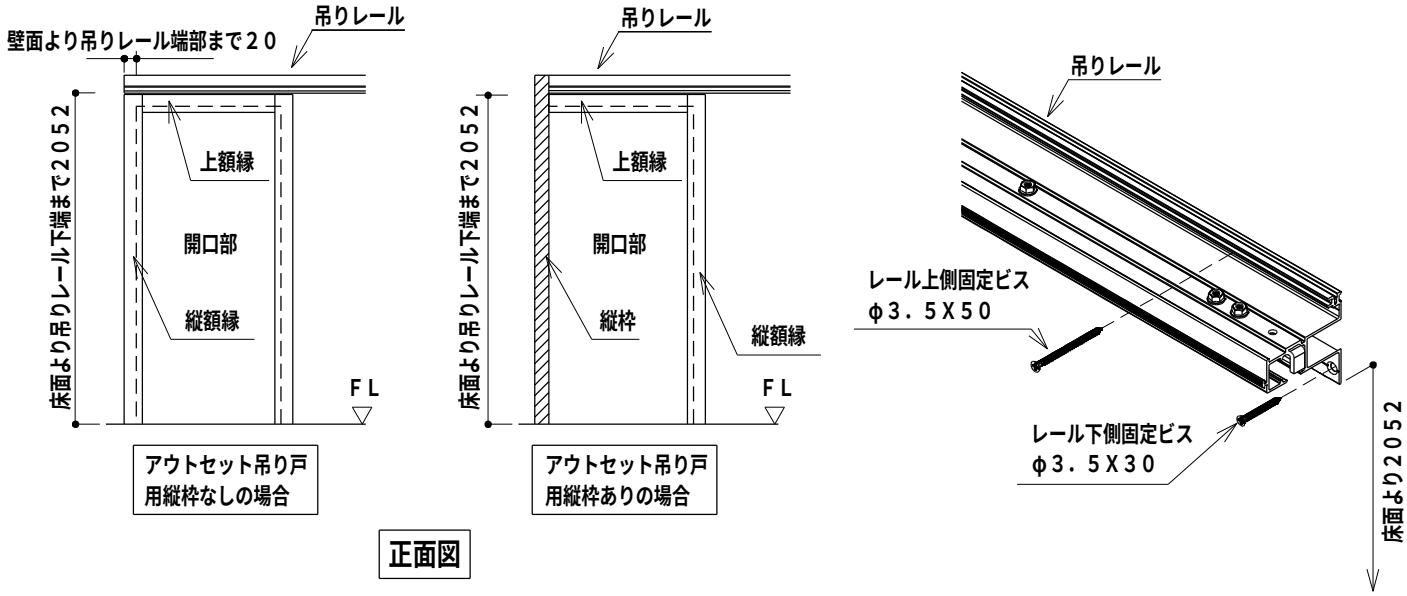
もう一方のファインモーション受け金具と取り付け穴が重なっていることを確認して、同様にビスで固定してください。

お願い 受け金具類を固定する場合には、ハンドドライバーを使用してください。
電動ドライバー等を使用されると、金具が変形または破損する場合があります。

お願い 受け金具類がレールの溝にまっすぐ入っていることを確認してからビスで固定してください。
溝に入っていない状態で固定すると、受け金具が変形または破損する場合があります。

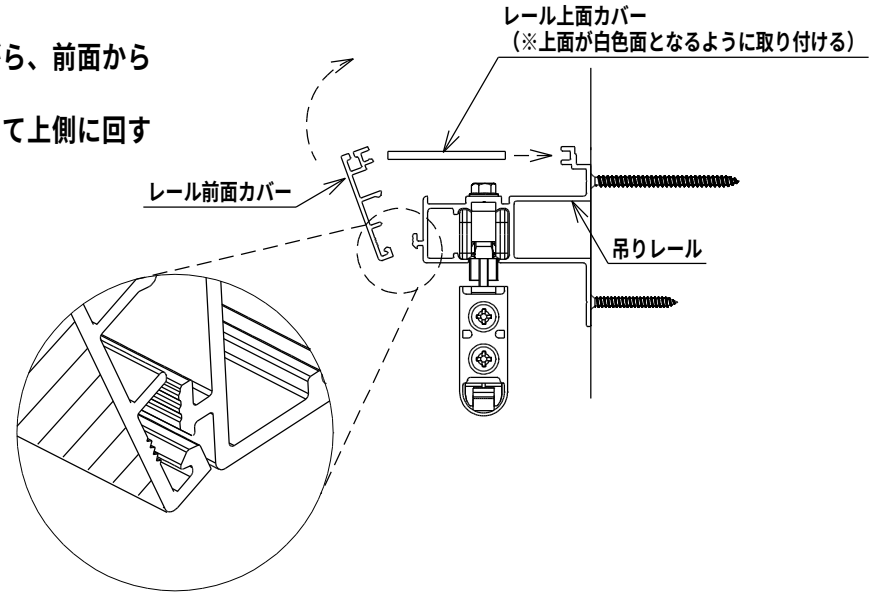
３－６．吊りレールの取り付け

垂壁に吊りレールを取り付けます。
下図のように吊りレールの下端をフロア面から２０５２mm、戸先側開口壁から２０mmの位置を基準にして水平に取り付けます。その際は、吊りレールの取り付け穴の位置に同梱のビスで固定してください。
※アウトセット吊り戸用縦枠ありの場合は、吊りレールを縦枠に突きつけて取り付けてください。



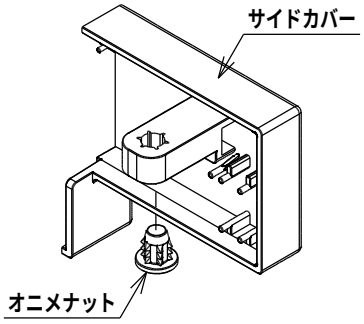
３－７．レールカバーの取り付け

レール上面カバーを吊りレールに差し込みながら、前面から
レール前面カバーを取り付けてください。
レール前面カバーは右図のように下側を合わせて上側に回す
ように取り付けてください。

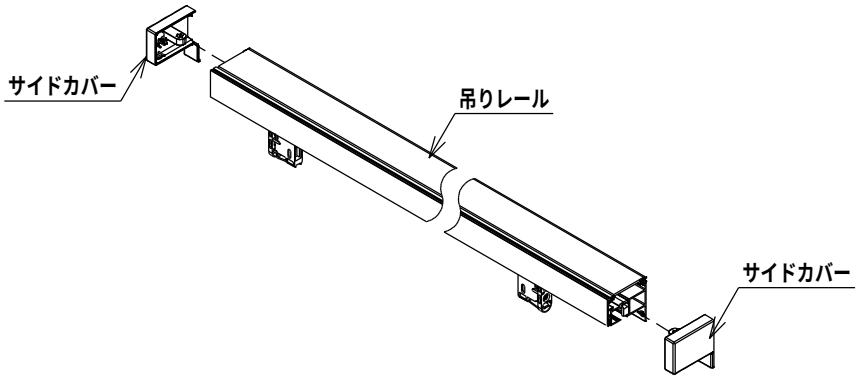


３－８．サイドカバーの取り付け

①サイドカバーの下側よりＬ型金具同梱のオニメナットを
取り付けてください。
※サイドカバーより出ないように、押し込んでください。

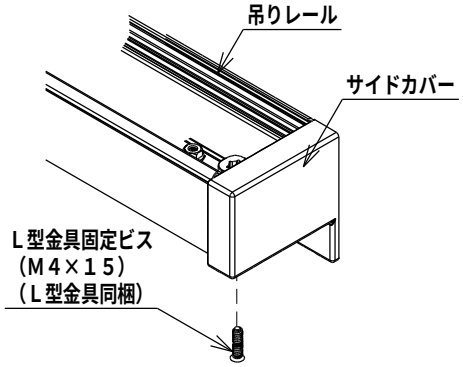


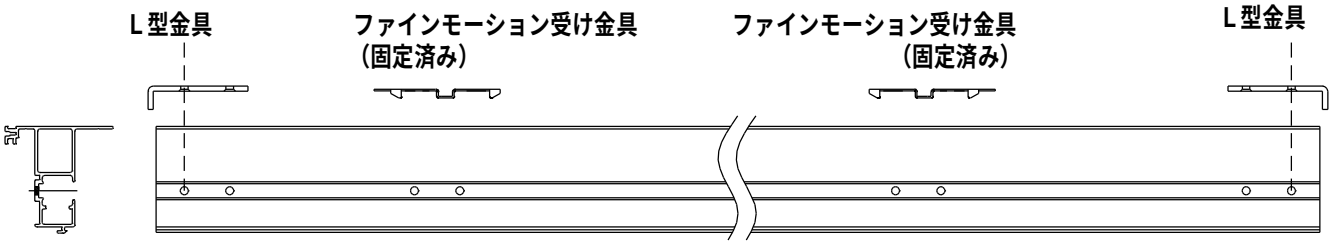
②吊りレールの両端にサイドカバーをはめてください。



③サイドカバーを取り付けます。下図を参照の上、取り付け穴に合わせて
Ｌ型金具とともに固定してください。取り付けの際はＬ型金具に同梱さ
れているＬ型金具固定ビス（Ｍ４Ｘ１５）で固定してください。

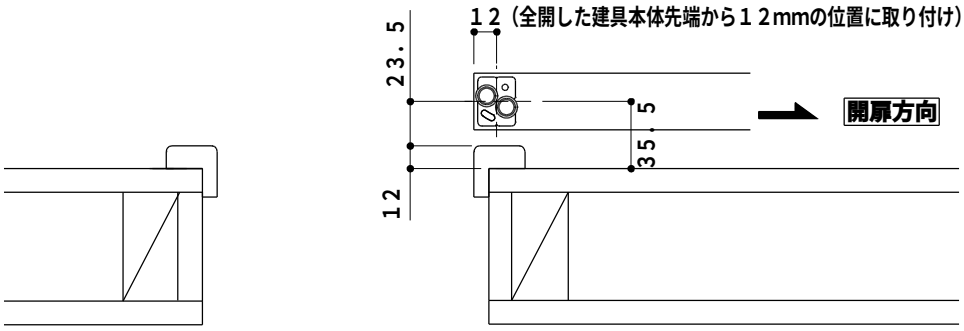
※アウトセット吊り戸用縦枠ありの場合は戸先側のサイドカバーは使用
しません。



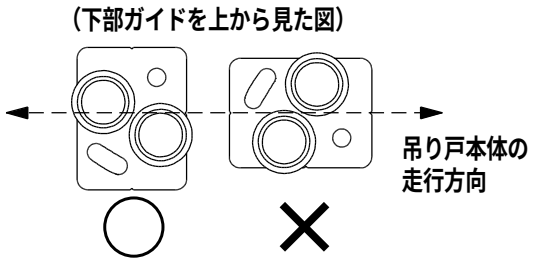


３－９．下部ガイドの取り付け

下部ガイドを下図の位置に、付属のビス（φ３Ｘ１６）で固定してください。
コンクリートに取り付ける場合は、コンクリートビス（現場調達）にて固定してください。

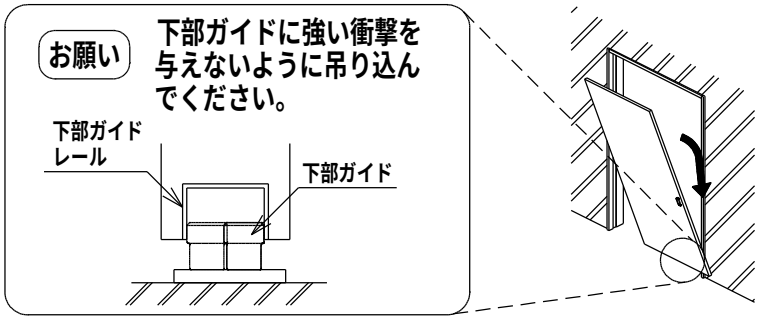


お願い　下部ガイドの取り付け向きを間違えないようにご注意ください。逆向きに取り付けると、吊り戸本体が吊り込めなくなります。

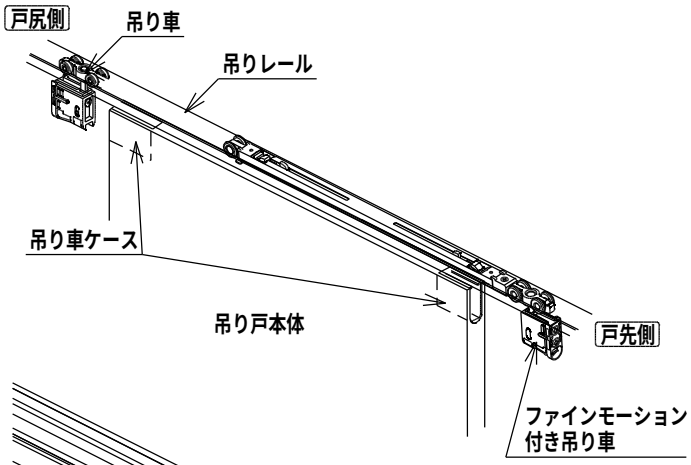


３－１０．吊り戸本体の吊り込み

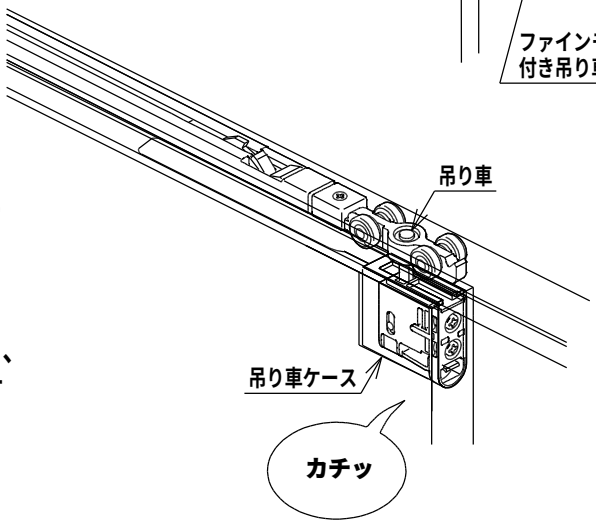
①吊り戸本体を斜めに傾けて、
下部ガイドに差し込んでください。



②吊り車を吊り戸本体の左右に振り分けてください。
引き手側（戸先側）にファインモーション付き吊り車、
反対側（戸尻側）に吊り車がくるように揃えてください。



③吊り戸本体に取り付けてある吊り車ケースに吊り車を
「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
※吊り車を差し込む際、吊り戸本体を少し持ち上げて頂くと
差し込みやすくなります。



④吊り戸本体を吊り込み完了後、吊り戸本体を静かに動かして、
ファインモーション機構が戸先戸尻いずれにおいても作動する
か確認してください。

4．養生・お手入れ方法

4－1．　養生

・当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等で養生してください。

4－2．　お手入れ方法

・吊り戸本体や枠が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
金属はやわらかい布で乾拭きしてください。

禁止

・酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
シートのフクレやねじれ、塗装・メッキのはがれやサビの原因となります。

5．ご使用上のご注意

・ファインモーション機構は、吊り戸本体を開閉した際に発生する衝突音を抑え、吊り戸本体の跳ね返りを少なくするもので、指挟み等を防止するものではありません。

・ファインモーション金具のオイルダンパーが室温などの影響を受けて、吊り戸の閉まる速度が変わる場合があります。

・ファインモーションの機能が働かなくなった場合は、一度吊り戸本体を完全に閉めてください。

・吊り車に取り付いているファインモーション金具は、取り外さないでください。
また、オイルユニットのオイルを抜いたり、注入すると故障の原因になります。

・吊り戸本体の開閉は静かに行ってください。
勢いよく開閉するとファインモーション機構が破損する恐れがあります。

・吊り戸に寄りかからないでください。
転倒や吊り戸の破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。

・開閉にあたっては、吊り戸と枠のすき間に手を置かないでください。
指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

・暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。
吊り戸の反り、変色、火災などの原因になります。

・吊り戸に粘着テープでポスターなど貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。

・本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。
材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。

・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。
ご自身で対処できない場合には、施工店にご相談ください。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始
E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp

S871Ie1809nkEP 第1版